

人を、想う力。街を、想う力。



2015年11月11日

報道関係各位

三菱地所株式会社  
東京商工会議所  
株式会社東京會館

## 三菱地所・東京商工会議所・東京會館による共同プロジェクト 「(仮称)丸の内 3-2 計画」 着工

三菱地所株式会社、東京商工会議所及び株式会社東京會館は、千代田区丸の内三丁目に所在する「富士ビル」「東京商工会議所ビル」「東京會館ビル」の3棟の一体建替えとなる「(仮称)丸の内 3-2 計画」について、本日地鎮祭を行い、本年11月16日に着工します。2018年10月中旬の竣工予定です。

本計画地は、世界有数のオフィス街である丸の内エリアの中でも、水と緑の景観が広がる皇居外苑と商業・文化色の濃い銀座・日比谷・有楽町に近接し、ビジネスの中心地にしながら気品と賑わいの感じられるエリアに位置します。100年以上に渡り丸の内では活動を続け現在も多くの会員を有する東京商工会議所や大正時代より続く国際社交場として愛される東京會館を低層部に構え、歴史を紡いできた高い「格式」に加えて、商業・文化の香り漂う「華やかさ」を持つ両面性が本計画の特徴です。

三菱地所株式会社、東京商工会議所及び株式会社東京會館は、MICE 誘致機能強化に資する大会議場やバンケットの整備、丸の内・有楽町地区の賑わいを更に活性化させる丸の内仲通り路面店舗の充実、エリアの防災機能を大幅に向上させる丸の内仲通り下の洞道整備等を通じて、丸の内エリアの魅力を高め、東京の国際競争力の向上に貢献してまいります。



日比谷通り・馬場先通り側より望む



日比谷通り・丸の内 4th 側より望む

### 【本計画に関するお問い合わせ先】

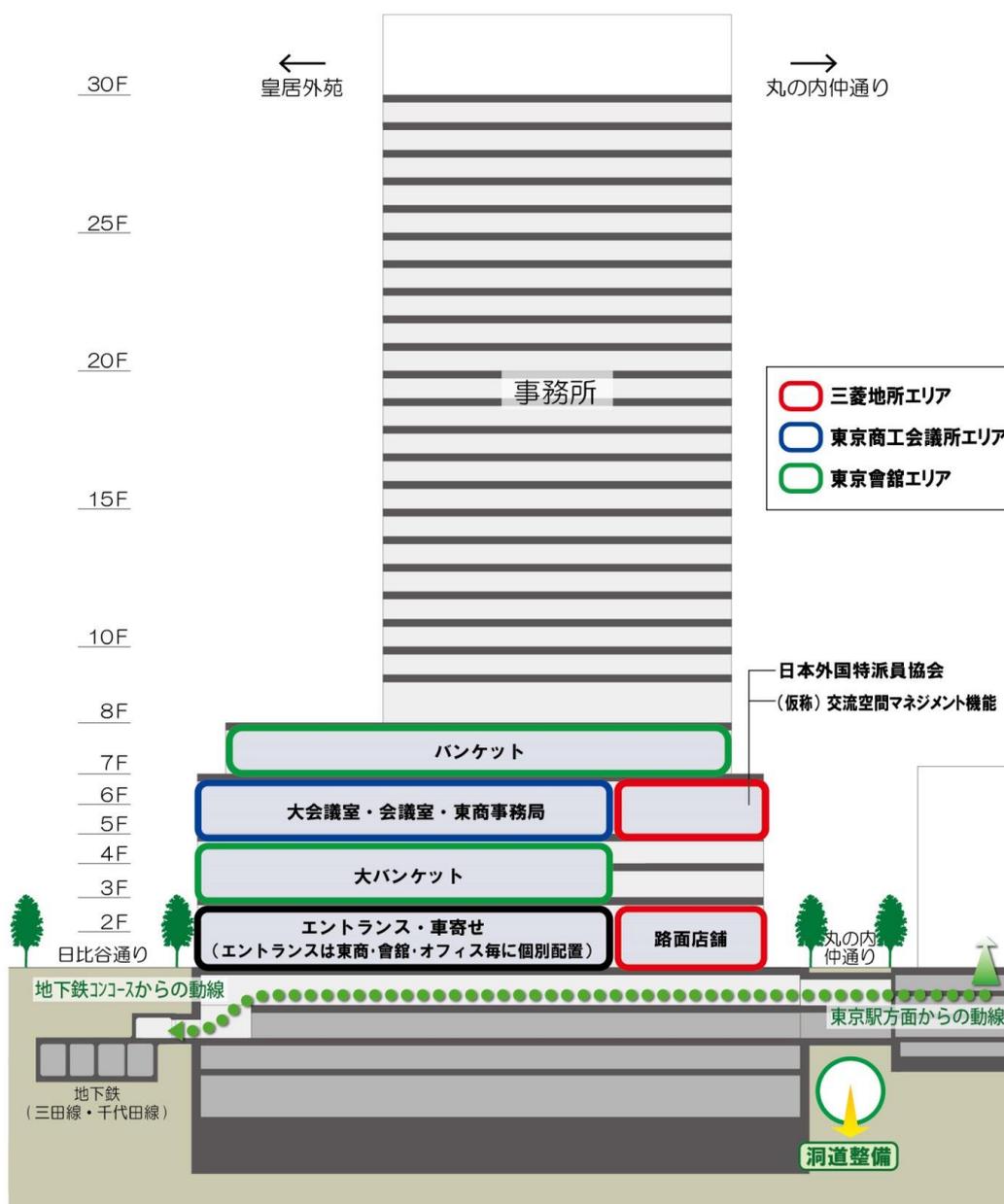
計画全般：三菱地所株式会社 広報部：03-3287-5200

東商エリア：東京商工会議所 東商ビル建替え準備室：03-3283-7857

會館エリア：株式会社東京會館 本館開設準備室：03-3215-2111

## ■ 建物概要及び権利関係

- 低層部については、三菱地所・東京商工会議所・東京會館による区分所有となり、三菱地所による丸の内仲通り路面店舗を中心とした店舗、東京商工会議所による貸会議室、賃貸オフィス及び東商事務局、東京會館によるバンケットが配置されます。
- 高層部については、皇居外苑を正面に望む賃貸オフィスとなり、三菱地所と東京會館が共有いたします。



## ■ 東京商工会議所

- 東京商工会議所区画は、貸会議室エリア、テナントエリア、東商事務局エリアから構成されます。日比谷通り、馬場先通りに面した1階エントランスには、東商の総合案内と各種展示会等が可能な多目的スペースを設置し、開放的で賑わいのある空間を創出します。
- 5階の貸会議室エリアには、中小規模会議室に加え、国際会議等の受け入れが可能な大会議室（約500席）を備え、多様な会議・イベントにも柔軟な対応が可能です。
- 2～4階のテナントエリア（1フロア有効面積約340坪）は皇居外苑を正面に望み、四季折々の景色を感じることができる快適で魅力的なオフィススペースとなります。



1階 東京商工会議所エントランスイメージ



5階 大会議室イメージ

## ■ 東京會館

- 東京會館区画は、2,000名規模のパーティに対応する地区内最大級となる大バンケットを新設し、国際規模のMICEに対応する最新設備を導入します。
- 皇居二重橋を一望できる日比谷通りに面した幅約100mのエリアには、披露宴会場やチャペルを設け、国際社交場として大正時代より長く愛されてきた東京會館の伝統を引き継ぐ、ここでしか味わえない特別な空間を創出します。
- 正面玄関前（国際ビル側）の丸の内4th通りには風格漂う車寄せを新設し、大型バスの駐車が可能となります。また、丸の内4th通りを相互通行に変更し、お客様の利便性を今まで以上に向上させます。



3階 東京會館大バンケットイメージ

## ■ 皇居外苑への眺望を擁する、利便性に優れたオフィス

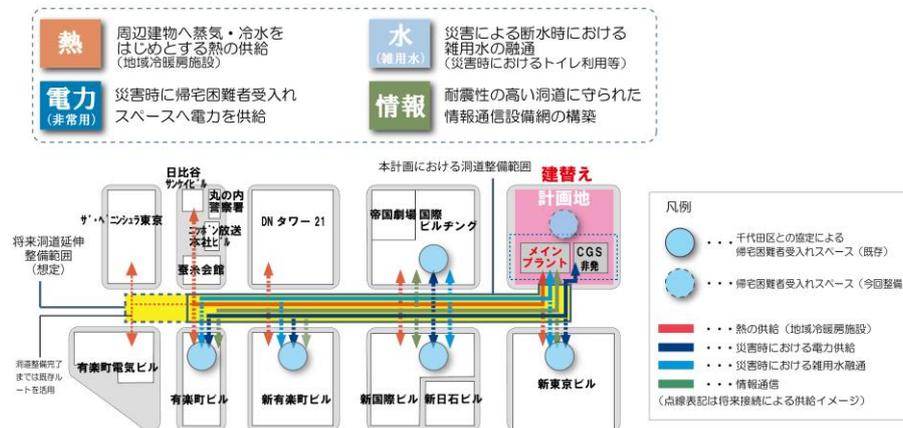
- 本計画地は丸の内エリアでも皇居外苑と丸の内仲通りの両方に面する街区に立地し、皇居外苑のみならず日比谷公園も望むことができる希少なオフィスを提供します。
- 東京駅・丸の内に加えて銀座・日比谷・有楽町との結節点に位置し、アクセス利便性は勿論、ビジネス・商業・文化の息づく場所として多様な業種にフィットします。基準階有効面積約900坪の快適性の高いオフィスは、多様な働き方に柔軟に対応します。
- 本計画に合わせて整備される地下ネットワークにより、都営三田線と東京メトロ日比谷線・千代田線の日比谷駅、東京メトロ有楽町線の有楽町駅に直結するとともに、東京駅や丸の内・大手町地区まで雨に濡れずに移動することが可能となります。



本計画ビル8階相当より皇居外苑を望む

## ■ エリアとしての安心・安全、BCPへの備え

- 水害に備え重要電気室を地上階に設置し、中圧ガスを利用するコージェネレーションシステム及びデュアル燃料の非常用発電機も用意し、災害時の事業継続性を高めています。また、建築基準法で求められる耐震性能の1.5倍の強度を備える制震構造です。
- 首都直下地震等の大規模災害に備え、耐震性の高い洞道を丸の内仲通り下に整備するとともに、本計画建物内に新設される丸の内熱供給(株)による地域冷暖房のメインプラントを活用し、熱・電力(非常用)・雑用水・情報を供給する面的なエネルギーシステムの構築を図ります。
- 大バンケットや大会議場など約3,500㎡を帰宅困難者の一時滞在施設として確保し、備蓄倉庫には帰宅困難者3日分相当の備蓄品を確保するとともに、洞道を通じて、周辺の5ビルの帰宅困難者滞在施設への電力供給を実施するなど、エリアの帰宅困難者対応を強化します。



## ■ 国際競争力強化に資する充実した MICE 機能

- 本計画建物においては、大規模な会議場とバンケットが併設され、国際会議の後、懇親会や個別の商談会を同一建物内にて行うことができます。また、付近の東京国際フォーラム等との連携により、丸の内エリアの国際会議等の受け入れ能力は大幅に充実することとなります。
- MICE 誘致に資するユニークベニュー<sup>1</sup>等としての周辺文化施設や広場等の活用検討や地区内 MICE 施設の情報共有の機能を本計画建物内に設け、MICE 拠点としての PR を行います。

## ■ 日本外国特派員協会（プレスクラブ）の誘致と丸の内からの情報発信

- 世界で最も古く権威のある記者クラブのひとつであり、各分野の国際的著名人が記者会見をしてきたプレスクラブは、更なる機能強化を目指し本計画への移転を決定しました。
- 今後はグローバル化が進む丸の内エリアからの国内外への情報発信を担うメディア機能となるよう引き続き協議して参ります。

## ■ 本計画による周辺エリアへの影響とその将来イメージについて

- 本計画建物が所在する丸の内三丁目は有楽町地区に隣接しており、本計画が始動することで丸の内三丁目・有楽町地区の賑わいはより一層高まることとなります。
- これまで丸の内エリアは、新たな機能の創出や交流の「場」づくりによる街の付加価値向上により、新たな需要を創出し、多様性を拡大させながら成長してきました。有楽町方面に向けてもこうした成長の流れを波及させ、多様な顧客ニーズ、新たな成長企業の受皿を創出し、更なる商業集積を進めることで、エリアの魅力づくりに貢献し、まちづくりコンセプト「Dynamic Harmony」<sup>2</sup>の実現を目指します。
- その取り組みの一環として、国家戦略特区制度等も用いて官民連携で推進している丸の内仲通りの活用において、道路空間でワーカーや来訪者がリビングのようにつろぎ快適に滞在できる場づくりを進化させ、道路と店舗、オフィスの新たな関係構築を図ります。



イベント開催時に賑わう丸の内仲通りの将来イメージ

<sup>1</sup> 歴史的建造物や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場。

<sup>2</sup> 丸の内エリアのまちづくりコンセプト「Open」「Interactive」「Network」「Diversity」「Sustainable」を踏まえ、三菱地所が制定した「あらゆるものをダイナミックに調和させ、新たな価値を生み出す街」丸の内を伝えるコミュニケーションワード。

## ■ 開発計画概要

- ・ 所在地 東京都千代田区丸の内三丁目 2 番ほか
- ・ 主要用途 事務所・会議室・バンケット・店舗・駐車場等
- ・ 敷地面積 約 9,900 m<sup>2</sup>
- ・ 延床面積 約 173,000 m<sup>2</sup>
- ・ 開発手法 都市再生特別地区（丸の内三丁目 10 地区）
- ・ 容積率 1500%
- ・ 階数 地下 4 階、地上 30 階、塔屋 2 階
- ・ 建物高さ 約 150m
- ・ 構造 地上：鉄骨造 地下：鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・ 設計監理 株式会社三菱地所設計
- ・ 施工 大成建設株式会社
- ・ 新築工期 2015 年 11 月 16 日～2018 年 10 月中旬（予定）

